

長野市 障害者福祉推進のための市民アンケート調査票

◆ アンケート調査ご協力のお願い ◆

日ごろから福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在長野市では、障害のある人の生活のさらなる向上をめざし、平成23年度に策定し、平成27年度に中間見直しを行った「長野市障害者基本計画」が令和2年度で最終年度となることから、新たな計画の策定を進めています。

そこで、市民のみなさんのご意見をお聞きするため、アンケート調査を実施することに致しました。この調査は市民1,000人（無作為抽出）を対象にしております。

調査は無記名でお答えいただき、個別の回答内容が公表されることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。

令和元年8月

長野市長 加藤 久雄

◆ ご記入のお願い ◆

●ご記入の際に

- 1 封筒のあて名の方ご本人がご記入ください。
- 2 選択肢がある場合には、あてはまる番号を○印で囲んでください。
- 3 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。

●アンケート調査票の返送について

記入後は、無記名のまま、同封の返送用封筒に入れて、

9月2日（月）までにポストへ入れてください（切手は不要です）。

●調査についてのお問い合わせ

長野市役所 障害福祉課 企画管理担当

電 話：026-224-5030 FAX：026-224-5093

メールアドレス：shougai@city.nagano.lg.jp

【あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別・年齢・ご職業・お住まいを教えてください。(○は1つずつ)

①性別	1 男性	2 女性				
②年齢	1 20歳代	3 40歳代	5 60歳代			
	2 30歳代	4 50歳代	6 70歳以上			
③職業	1 勤め人(正規の社員、職員)	4 学生				
	2 自営業・自由業・家業	5 家事専業者(主婦、主夫)				
	3 パートタイマー・派遣社員	6 無職				
	・アルバイト等	7 その他()				
④お住まい	1 第一	2 第二	3 第三	4 第四	5 第五	6 芹田
	7 古牧	8 三輪	9 吉田	10 安茂里	11 古里	12 柳原
	13 浅川	14 大豆島	15 朝陽	16 若槻	17 長沼	18 豊野
	19 篠ノ井	20 川中島	21 更北	22 松代	23 若穂	24 小田切
	25 芋井	26 七二会	27 信更	28 戸隠	29 鬼無里	30 大岡
	31 信州新町	32 中条				

【あなたのご家庭やご近所のことについてお聞きします。】

問2 あなた、もしくは同居している家族の中に、障害のある人がいらっしゃいますか。
(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問3 あなたが病気、けが、妊娠など、何らかの理由で、近所の人の手助けを必要としたことや、実際に手助けを受けたことがありますか。(○は1つ)

1 手助けを受けたことがある	3 特にない
2 手助けを必要としたことがあるが受けたことはない	

問4 あなたは、普段近所の人と、どの程度のお付き合いをしていますか。(○は1つ)

1 ほとんど付き合いがない	4 2～3日留守にする時は、声をかける
2 顔を合わせればあいさつする	5 家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する
3 時々世間話をする	6 その他()

【障害のある人との関わりについてお聞きします。】

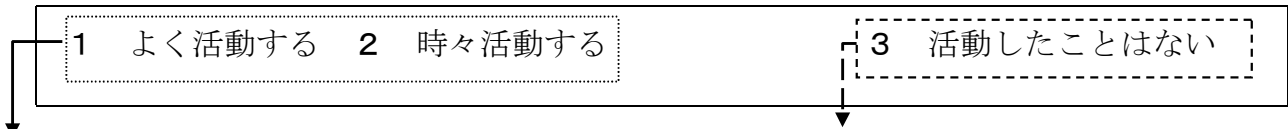
問5 あなたは、この1年間に地域の中や近所において、障害のある人に対して次のような手助けをしたことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 荷物を持つのを手伝った | 7 食事、掃除、洗濯などを手伝った |
| 2 バスや電車などで席をゆずった | 8 外出の手助けをした |
| 3 階段や道路横断に手をかした | 9 近所なので気にとめている |
| 4 車いすを押すなどを手伝った | 10 その他 () |
| 5 話し相手になった | 11 特にない |
| 6 買い物や薬をもらってきた | |

問6 近所に住む障害のある人に対する手助け(日常的なこと)について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

- | |
|--|
| 1 近所に住む者として、できる範囲で手助けしたい |
| 2 手助けをしたいが、何をすればいいのかわからない |
| 3 手助けをしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない |
| 4 手助けは国・県・市やボランティアなどが行う仕事なので、近所の者はしなくてよい |
| 5 よけいなお世話になってしまうので、手助けはしない |
| 6 その他 () |

問7 あなたは、この1年間に障害のある人と一緒に活動したことはありますか。(〇は1つ)



問7① 何がきっかけで活動しましたか。
(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------|
| 1 学校または職場がいっしょだった |
| 2 近所だった |
| 3 外出したときに見かけて |
| 4 ボランティア活動で |
| 5 地域の行事やイベントに参加して |
| 6 その他 () |

問7② その理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------|
| 1 障害のある人が身近にいなかったから |
| 2 どのように接してよいか、わからないから |
| 3 専門の人や関係者に任せた方がよいから |
| 4 自分には関係ないから |
| 5 その他 () |

問8 あなたは、障害のある人の手助けをするなど、福祉関係のボランティア活動をしたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 現在活動をしている | 2 以前活動をしたことがあるが、現在はしていない |
| | 3 活動したことがない |

問8① どのような活動をしていますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 相談や安否確認、話し相手 |
| 2 | 食事や入浴、衣服の着脱などの介護 |
| 3 | 買物、掃除、草取りなどの援助 |
| 4 | 移送やガイドヘルプなどの外出援助 |
| 5 | ふれあい活動や交流活動の支援 |
| 6 | 老人ホームや障害者施設での活動作業に対する援助 |
| 7 | スポーツ・レクリエーションの指導・介助 |
| 8 | 手話・点訳・朗読活動・要約筆記 |
| 9 | 自主制作紙や絵本の製作活動 |
| 10 | 教育活動・指導活動 |
| 11 | その他 () |

問8② 活動していない理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------|
| 1 | 仕事や家事が忙しく、時間がとれない |
| 2 | 体力に自信がない |
| 3 | 活動したいが、きっかけがつかめない |
| 4 | 身近に活動グループや仲間がいない |
| 5 | 活動のための費用がない |
| 6 | 資格・技術をもっていない |
| 7 | 家族や職場の理解が得られない |
| 8 | 興味のもてる活動がない |
| 9 | 本来行政がやるべきものである |
| 10 | ボランティア活動はしたくない |
| 11 | その他 () |

問9 今後、あなたは福祉関係のボランティア活動をしたいと思いますか。また、現在活動中の方は、今後とも活動を続けていきたいと思いますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 ぜひ活動したい (ぜひ活動を続けたい) |
| 2 できれば活動したい (できれば活動を続けたい) |
| 3 あまり活動したくない (あまり続けたくない) |
| 4 まったく活動したくない (まったく続けたくない) |

問9① どのようなボランティア活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 相談や安否確認、話し相手 |
| 2 | 食事や入浴、衣服の着脱などの介護 |
| 3 | 買い物や掃除、草取りなどの身の回りの援助 |
| 4 | 移送サービスやガイドヘルプなどの外出の援助 |
| 5 | ふれあい活動や交流活動の支援 |
| 6 | 老人ホームや障害者施設での活動作業に対する援助 |
| 7 | スポーツ・レクリエーションの指導・介助 |
| 8 | 手話・点訳・朗読活動・要約筆記 |
| 9 | 自主制作紙や絵本の製作活動 |
| 10 | 専門技術を生かした教育活動・指導活動 |
| 11 | その他 () |

問10 あなたは、地域での助け合いやボランティア活動を活性化していくためには、どのようなことが大切だと思いますか。（主なもの3つまでに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1 援助が必要な人、援助をしたい人のための相談・情報提供の充実 |
| 2 ボランティア団体の活動内容などの情報提供の充実 |
| 3 ボランティア1日体験など参加機会の提供 |
| 4 活動をしている人のための研修の開催 |
| 5 活動拠点の提供 |
| 6 活動のための資金の援助 |
| 7 地域活動やボランティアリーダーの育成 |
| 8 自治会活動など地域活動の活発化 |
| 9 その他（ ） |
| 10 わからない |

問11 あなたは、福祉に関する制度や動きについての情報を、どのような手段で得ることが多いですか。あてはまるものをお答えください。（○は2つまで）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 新聞・雑誌・本 | 7 県や市の職員 |
| 2 テレビ・ラジオ | 8 家族 |
| 3 インターネット | 9 友人・知人 |
| 4 県や市の広報紙やパンフレット | 10 仕事先やボランティア先 |
| 5 地域等のイベント等 | 11 その他（ ） |
| 6 民生委員・児童委員 | 12 特にない |

【障害のある人に対する意識・理解についてお聞きします。】

問12 障害のある人が、差別や権利侵害、偏見を受けていると感じたことはありますか。それは具体的にはどのような面ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1 仕事 | 5 交通及び施設利用 | 9 その他（ ） |
| 2 教育 | 6 恋愛 | 10 わからない |
| 3 公共サービス | 7 情報保障 | 11 感じたことはない |
| 4 社会制度 | 8 医療 | |

問13 あなたは、近年、地域社会で障害者に対する理解は進んでいると思いますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 かなり進んでいる | 4 まったく進んでいない |
| 2 ある程度進んでいる | 5 わからない |
| 3 あまり進んでいない | |

問14 あなたは、障害のある方とない方がお互いに理解し、共に生きることができる地域社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(主なもの3つまでに○)

- 1 小さい頃から、障害の有無にかかわらず普通にふれあうよう努める
- 2 障害のある方とない方が交流する場や機会を設ける
- 3 障害についての理解が深められるよう、情報提供や啓発活動を充実させる
- 4 学校教育の中で、障害や福祉に関する学習を充実させる
- 5 障害者へのボランティア活動を活発にする
- 6 障害があっても外出したり、活動しやすい環境を整備する
- 7 障害があっても働きやすい環境や一緒に働く機会を充実させる
- 8 その他 ()
- 9 わからない
- 10 特にない

【今後の行政の福祉施策についてお聞きします。】

問15 地震や台風などの災害時に備えて、高齢者、障害のある人への対策として、特にどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

- 1 地域・近所での日ごろからの協力体制づくり
- 2 緊急通報システムの普及
- 3 災害時の情報伝達・安否確認方法の確立
- 4 災害時の生活支援体制の確立
- 5 訓練の実施など住民の意識啓発
- 6 ボランティアの受け入れ体制の整備
- 7 障害のある人に配慮した支援物資の確保
- 8 その他 ()

問16 障害のある人にとって住みやすいまちをつくるためには、どのような取組に特に力を入れる必要があると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 障害のある人への理解を深める教育や広報 | 8 就労継続支援事業所や地域活動支援センターなどの充実 |
| 2 相談窓口の充実 | 9 就労機会の確保や支援 |
| 3 利用できるサービスの情報提供 | 10 経済的支援 |
| 4 在宅福祉サービスの充実 | 11 ボランティア活動の育成 |
| 5 保健・医療サービスの充実 | 12 災害や緊急時の支援体制の整備 |
| 6 道路、公衆トイレ等公共施設などを利用しやすくする | 13 スポーツ・レクリエーション、文化活動への参加支援 |
| 7 移動手段の充実 | 14 その他 () |

問17 国・県・長野市が行う障害のある人への施策に関することで、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。
記入された調査票は、同封の返送用封筒に入れてご投函ください。